

オンラインデータ連携基盤を活用した 業務アプリの相互流通スキームを構築！

～「地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ
(CMS-WG)※1の取り組み【第一弾】～

池田泉州銀行(頭取CEO 鶴川 淳)は、NTTデータ地銀共同センター※2参加行12行とともに、MEJAR※3参加行5行と昨年11月に立ち上げたシステム・ワーキンググループ(以下、『CMS-WG』)での第一弾の取り組みとして、業務アプリの相互流通スキームを構築しましたので、お知らせいたします。

今回構築した相互流通スキームは、オンラインデータ連携基盤/SEHub※4を活用して構築しております。本件スキームを活用することで、先発行が開発した業務アプリを相互に活用し、短期間、低コストでの実装を可能とするとともに、各行のノウハウを共有化することで、デジタル分野でのサービス拡充を一段と加速させ、しかも効率的に実現することができます。また、本件スキームは広く公開する方針としており、CMS-WG参加行以外の金融機関も幅広く参画いただく予定です。

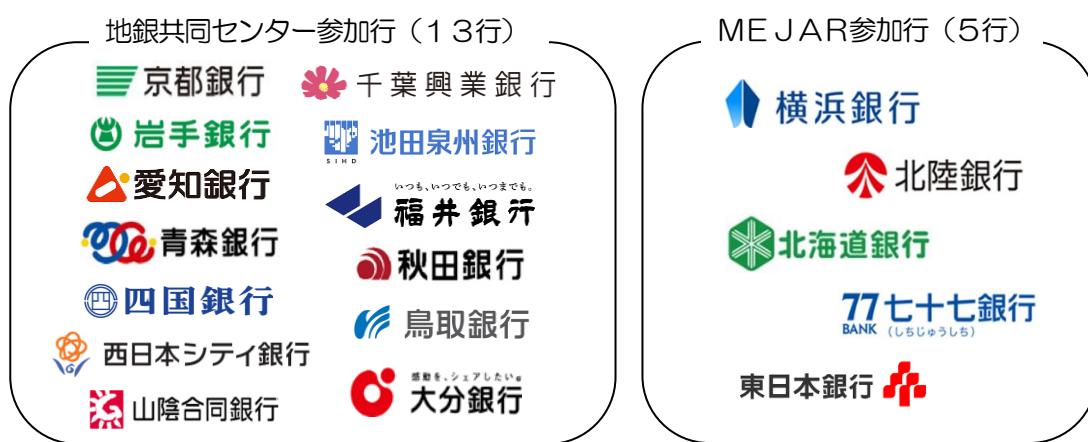
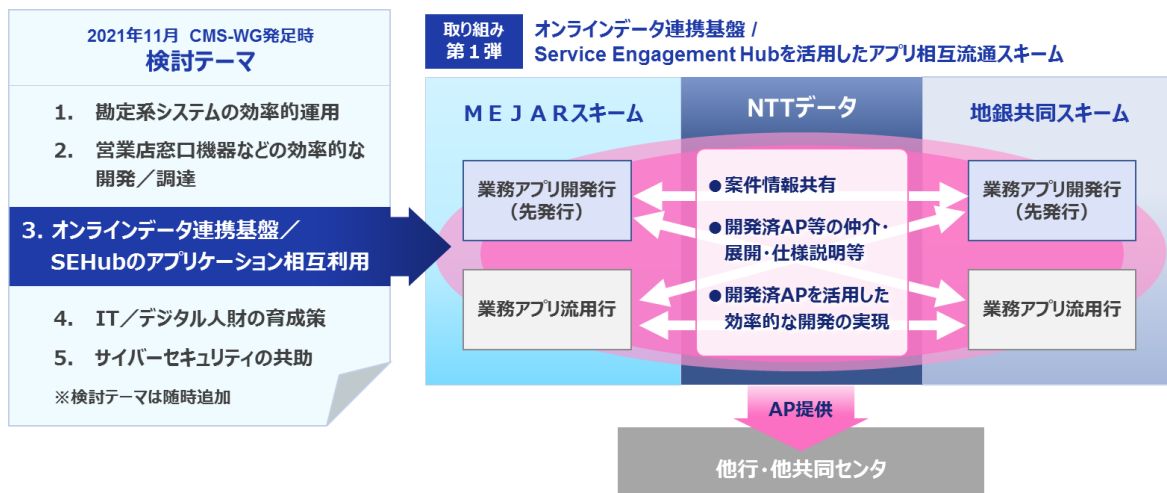
なお、5つの検討テーマを掲げてスタートしたCMS-WGでは、経営資源のより一層の有効活用を念頭に置いたシステム運用の効率化を引き続き進めてまいります。

当行は、今後も引き続き、お客さまのニーズへお応えするため、利便性ならびにサービスの向上に取り組んでまいります。

記

スキーム概要

名 称	オンラインデータ連携基盤/SEHubを活用したアプリ相互流通スキーム (相互流通スキーム)
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 両センターの先発行で開発済みの業務アプリ(約20業務)について、業務アプリ導入希望行による利用が可能です。導入希望行は、先発行の事務を踏襲することで、短期間かつ低コストで利用が可能となります。 新たな業務アプリの両センターでの共同検討を実施します。 両センターに加え、他行・他共同センター(CMS-WG以外の銀行)への業務アプリ提供を実施します。



NTT DATA
Trusted Global Innovator

- ※1 地銀共同センター・MEJAR システム・ワーキンググループ (CMS-WG) …システム関連で親和性のある両グループがそれぞれの強みを生かし、参加行共通の課題に対するシステム運用の効率化を検討する場。
- ※2 地銀共同センター…NTTデータが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。参加行は以下の通り (利用開始および銀行コード順)
京都銀行、千葉興業銀行、岩手銀行、池田泉州銀行、愛知銀行、福井銀行、青森銀行、秋田銀行、四国銀行、鳥取銀行、西日本シティ銀行、大分銀行、山陰合同銀行
- ※3 MEJAR…NTTデータが構築・銀行が主体で運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。参加行は以下の通り (利用開始および銀行コード順)
横浜銀行、北海道銀行、北陸銀行、七十七銀行、東日本銀行
- ※4 オンラインデータ基盤/SEHub (Service Engagement Hub) …地銀共同センターおよびMEJARのそれぞれで構築した外部サービスや銀行システムと容易にAPI連携できる基盤。

以上